

急性の嗅覚・味覚障害についてのお願い

新型コロナウイルスの感染で、他の症状がなくても、先行して急ににおいの異常(嗅覚障害)やあじの異常(味覚障害)を自覚することがあります。このことで各医療機関に多くの問い合わせが来ていますが、現時点では多くの施設で発熱や肺炎のない軽症の方は、新型コロナウイルス感染症であるかどうかの検査(PCR検査)を行うことはできません。

においやあじがわからなくなる病気のほとんどが、**新型コロナウイルス感染症とは無関係**です。しかし、元々鼻の病気がないのに、「急に」においやあじがわからなくなった場合は、**新型コロナウイルスに感染している可能性**もあります。念のため、周囲への感染を拡大させないように、以下のように心がけてください。

- ①「におい」や「あじ」の異常を感じてから2週間は、できるだけ不要不急の外出を控えてください。マスクを着けて対話をしてください。手洗いもこまめにしてください。医療機関への受診は控えて、毎日体温を測定してください。
- ②37.5度以上の発熱が4日間続く場合や、咳・息苦しさ・だるさがあれば、市区町村の帰国者・接触者相談センターにご相談ください。厚生労働省のホームページからも確認することができます。
- ③嗅覚障害・味覚障害に対する治療(対症療法)は、急ぎません。まずは何も薬を使わないで様子を見ましょう。自然に治ることが多いです。発熱や咳などの他の症状がなく、嗅覚障害や味覚障害の症状が2週間以上経過しても変わらない場合には、耳鼻咽喉科外来までお問い合わせください。

あなたとあなたの周りのみなさんの身を守るために、ご協力をお願いいたします。

